

Mutsumi

睦眉会会報

発行者

徳島大学睦眉会

徳島大学医学部保健学科同窓会

徳島県徳島市蔵本町3-18-15 〒770-8509

徳島大学医学部保健学科内

TEL/FAX: 088-633-9067

E-mail: mutsumi.jim@gmail.com

発行責任者 久米博子



保健学科長挨拶



徳島大学医学部保健学科長

徳島大学大学院保健科学研究科長

森 健治

睦眉会の会員の皆様におかれましては、ますますご活躍のことと存じます。日頃は、本学の教育や研究について多大なご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。また、保健学科における国際交流事業にもご理解いただき、心温まるご寄附をいただいておりますこと厚く御礼申し上げます。大学院保健科学研究科では、毎年5名以上の外国人留学生を受け入れて参りました。さらに、近年は、本学の大学院生の海外留学も推進しております。

新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことで、令和6年度入学式も、令和5年度に引き続き対面で開催することができました。授業に関しても、ほとんどの授業が対面開講となり、日常が戻ってきたと感じています。新型コロナウイルス感染症への対応が緩和されましたが、現在、マイコプラズマ肺炎に加えインフルエンザも流行しており、予断は許さない状況ではあります。気を緩めることなく、感染対策をしっかり行う必要性を感じているところであります。

2024年8月には大学院保健科学研究科の入学試験が行われま

した。毎年、入学定員を超えるたくさんの受験生に受験していただいております。2025年4月からは入学された皆さんとともに活発な研究活動を行っていきたくと思っています。そして大学院生による研究の発展を期待しています。また、看護リカレント教育センターが設置され、4年が経ちました。現在は感染管理分野認定看護師教育課程が開講されております。さらに、2024年11月には、看護リカレント教育センター長の山下先生が保健学科看護学専攻・地元創成看護学分野の教授にご就任され、在宅ケアを始めとするリカレント教育はより拡大・充実したものとっております。興味がある方は看護リカレント教育センターのホームページをぜひご覧ください。

2024年2月には国家試験が行われ、高い合格率を誇り、卒業生は全国で活躍しています。博士前期課程及び後期課程を修了した大学院生も医療や教育・研究分野で活躍しています。

今後とも、徳島大学医学部保健学科及び大学院がますます発展していきますよう、ご支援・ご高配の程、何卒よろしくお願い申し上げます。



会長挨拶



——再始動——

徳島大学睦眉会会長

徳島大学医学部附属看護学校28期生

久米 博子

新型コロナウイルスによって今まで当たり前だと思っていた様々な日常生活が奪われました。しかし、それが逆に、当り前の日常に感謝するというきっかけを作りました。そして、何が大切なのか、これまで自分の力だと思っていたことも、実は多くの人に支えられていることに気づかされました。長引く自粛生活の中で、忘れかけていた人と人の関わりや人への感謝の気持ちを思い出させたのは、コロナの功績なのかもしれません。

さて、睦眉会は、徳島大学医学部保健学科、同大学院保健科学研究科、ならびに前身校を含めた同窓会です。平成8年に発足し、会の目的は、会員相互の親睦及び母校の発展を図り、保健医療の向上に寄与することです。会員は、卒後、看護師、診療放射線技師、臨床検査技師、助産師、保健師等の免許を取得し活躍する正会員、学生は準会員、教職員等の特別会員で構成されており、令和6年4月現在の正会員数は、7,915名となっております。

睦眉会では、令和6年4月5日にアスティとくしまで令和6年度入学式が挙行された後、蔵本キャンパスにて、令和6年度睦眉会主催新入生歓迎昼食会を開催しました。会場は、

感染対策として、4会場（学部生は、看護：大講義室、放射：C-11講義室、検査：C-22講義室、大学院生は、C-23講義室）に分かれて行いました。会長挨拶は、会場が分かれていることと時間に制限があるため、事前にZoomで撮影し、当日、各教室で担当の先生方に放映していただきました。一番人数の多い看護の大講義室では、直接皆さんに会って挨拶を行い、希望に満ち溢れる入学生の方々から、エネルギーをいただきました。

また、令和6年7月14日には、皆様のご協力で、令和6年度睦眉会総会と第14回睦眉会主催講演会を参集にて開催することができました。講演会の演題は「ピラティスによる腰痛の運動療法」で、講師は、徳島大学大学院医歯薬学研究部 地域運動器・スポーツ医学分野 特任准教授の藤谷 順三先生で、講演の後に実技を行いました。参加者からは、大変良かった、今後の参考にしたい、実技があつて良くわかった、などの感想をいただきました。

結びとして、皆様のご健康とますますのご活躍をお祈りいたしますと同時に、同窓会の運営につきまして、今後、更なる睦眉会の発展のために、引き続きご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

同窓生通信

看護の未来を切り拓こう

徳島大学医療技術短期大学部看護学科5期生
徳島大学病院 看護師特定行為研修センター

中山 志津



私は平成7年に卒業後、徳島大学（医学部附属）病院に入職し、内科・外科系の一般病棟、NICU、集学治療病棟（ICU・HCU・SCU）等で看護師・看護管理者として経験を積み重ね、現在は徳島大学病院看護師特定行為研修センターの専任看護師として従事しています。当センターは、2020年2月に看護師特定行為研修の指定研修機関として厚生労働大臣の指定を受け、開講後4年間で研修修了生は28名（徳島県内8施設より受講）となり、私自身も2022年度に研修（1区分2行為）を無事に修了することができました。

特定行為とは診療の補助であり、医師が予め作成した手順書（医師による包括的指示）により行う場合には、実践的な理解力、思考力及び判断力、高度かつ専門的な

知識及び技能が特に必要とされるものとして38行為が掲げられています。「特定行為に係る看護師の研修制度」は、保健師助産師看護師法に位置付けられた研修制度で、2014年6月に創設され、今年で10年目を迎えました。少子高齢化に伴い疾病構造が変化する中で、医療ニーズは多様化・複雑化しており、看護師には従来にも増して高度な実践能力が要求されるようになりました。そこで特定行為研修で医師の視点を学び、臨床推論・病態判断に基づいたアセスメント力を向上させ、特定行為をタイムリーに実践することによって、患者の早期回復や重症化予防、苦痛の軽減等を図り、チーム医療の推進を図ることができる看護師の養成が進められています。

特定行為は看護師の役割を拡大し、自身のキャリアアップだけではなく、安全でより質の高い医療・看護の提供が期待できます。後輩の皆様も、看護の未来を切り拓くための一歩を踏み出してみませんか。今後も特定行為研修を修了した看護管理者として、医学と看護の両方の視点を持った特定行為研修修了者の育成を通し、チーム医療の推進、医療・看護の質向上や、地域の医療人育成に貢献できるよう努めてまいります。



知る楽しさと感謝を大切に

徳島大学医学部保健学科検査技術科学専攻4期生
徳島大学大学院医歯薬学研究部 病理解析学分野 講師

成澤 裕子

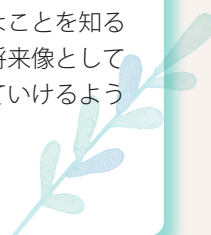


私は平成21年3月に徳島大学医学部保健学科検査技術科学専攻を卒業後、病理学に特化した臨床検査技師生活を送っていました。

徳島大学卒業後、地元の香川県に帰り、香川大学医学部腫瘍病理学教室にて技能補佐員の傍ら、大学院に進学しました。研究室では実験動物の扱いから病理標本作製、組織の病理学的評価など、一連の流れを自分で行う（自給自足ともいう）ことにより、多くの学びを得ることができました。また、学生時代から関心のあった細胞検査士の資格取得にも取り組みました。仕事をしながらの勉強でしたので、試験までは気力と体力と、研修会で会う一緒に受験する県内の他施設の方々との励まし合いで乗り切りました。資格取得までは「大変だった！」という思い出がめっぽう強いところですが、国家試験よりも深い知識を学ぶ楽しさもあったと、今になって思います。学位取得後は同教室で助教として医学科生や看護学生に病理学に関する指導に関わらせていただきながら、肺癌、膵癌の発癌に関連した病理学的研究を行ってきました。

また、前職の病理・細胞診検査専門の検査センターでは、ヒトだけではなく、動物病院の病理検査業務にも携わりました。犬、猫だけにとどまらず、小鳥やハリネズミ、爬虫類などさまざまな動物種の病理標本作製を経験し、動物の病理診断を獣医師の先生にご教授いただきました。

これまでの経験を携えて、令和5年9月より母校の教員である現職に着任しました。思い返せば学生時代から現在まで、ご指導いただける先生や先輩方、同期に恵まれて、病理学に特化しながらも幅広い経験を積むことができており、常に感謝の連続です。現職では、後輩でもある学生さんへの講義や実習を通し、新たなことを知る楽しさを知ってもらうだけでなく、卒後の将来像としてさまざまな進路、可能性があることを伝えていけるよう精進してまいります。



「最後まで助産師」を

徳島大学医学部附属助産婦学校29期生

山形 富子



皆さんお元気ですか。

私は育児の一時期と再就職した病院が産科病棟閉鎖になり2回お産現場を離れていました。その度「お産現場に戻りたい」想いがあり、病院の新築移転に伴う産科病棟再開はとても嬉しいものでした。より良い周産期ケアを目標に仲間との切磋琢磨

は楽しく、何よりも妊娠婦や児に寄り添える喜びにいつまでも働き続けようと考えていました。しかし、定年間近に病気になる仲間への助けられながらの勤務状態に、夫からの「何かあったら赤ちゃんに迷惑をかける」の言葉もあり退職を決意、令和6年3月に40年余りの看護職人生を終えました。

退職後に予定していた大掃除も体力が無く長続きしません。何をしてもない毎日のなか5月の徳島新聞鳴潮欄の実話詩編「生ましめんかな」に衝撃を受けたのです。原爆投下直後の地下暗闇で遺体や負傷者の中で産気づく妊婦に「私が産婆です。私が生ませましょう」と自身も重傷であるにもかかわらず声を上げ、小さな命が生まれた後その産婆は亡くなります。

「生ましめんかな、己が命捨つとも」に「助産師は助産師に戻ってくるよ」退職時の上司の言葉が重なります。「お産現場に戻りたい」「健康状態は」「母子に迷惑をかけないか」と様々な想いが巡ります。そして多くの同窓生の方々と同様に「お産が大好き」なことを痛感します。お産現場から離れて半年、季節も変わり今は体調に合わせて母子につながる事ができればと考えています。「生ましめんかな」の産婆さんのように「最後まで助産師」の人生を創ってみようかと思いはじめています。

最後まで読んでいただきありがとうございました。

また執筆の機会をいただき感謝します。

同窓生の皆さんお元気でまたお会いしましょう。

“Where there is a will, there is a way” (意志のあるところには道は開ける)

徳島大学医療技術短期大学部診療放射線技術学科13期生
岡山大学病院 医療技術部 放射線部門

中嶋 真大

同窓生の皆様元気にお過ごしでしょうか？原稿を執筆しながら楽しかった大学時代を思い出しています。私は2003年3月に医療技術短期大学部診療放射線技術学科を卒業後、岡山大学病院で診療放射線技師として勤務しています。就職してから光陰流水の如しで21年が経ちました。就職してから研究に関心を持ち、専門的な知識を習得するために岡山大学大学院の修士課程に入学して2017年3月に修了しました。そして2020年3月に岡山大学大学院の博士課程を修了し博士号（保健学）を取得しました。最近、臨床業務の他に研究を行い、ランニングやバスケットボールなどのスポーツにも挑戦しています。

さて今回、引き受けさせて頂いた同窓生通信のタイトルを“Where there is a will, there is a way”にしました。これはアメリカ第16代大統領のエイブラハム・リンカーンの言葉で「どんな困難な道でもそれをやり遂げる意志さえあれば必ず道は開ける」という意味です。私は研究費獲得のために、競争的資金である科学研究費助成事業（科研費）に挑戦を重ねてきました。不採択になる度に心が折れそうになりますが、科研費に採択されたい！と

いう「強い意志」を持ち続けて諦めずに挑戦を重ねてきました。その甲斐があって今年、4度の挑戦で採択されました。また論文も積極的に投稿していますが、rejectされることが多くreviewerからのコメントに落ち込みますが、絶対にacceptしてやる！という「強い意志」を持ち続けて挑戦しています。私は足を踏み出すことに躊躇している時や困難にぶつかって心が折れかけている時は、“Where there is a will, there is a way”を思い出することで挑戦することができます。一步を踏み出せずにいる場合は、「強い意志」で最初の一步を踏み出してみようでしょうか？前進することで諦めたら経験できなかった色々なことが経験できて道が開けるかもしれません。これからも「強い意志」を持って目標を定めて諦めずに挑戦し努力し続けていきたいと思っています。



「右から3番目が著者」

..... 第14回睦眉会主催講演会報告

「正しい姿勢・動作で腰痛予防！」



「講師の藤谷順三先生」

第14回睦眉会主催講演会が、令和6年7月14日徳島大学病院日亜ホワイトにおいて開催されました。コロナ禍を経て久々の現地開催となる本会は、本学地域運動器・スポーツ医学分野の特任准教授 藤谷順三先生をお招きし「ピラティスによる腰痛の運動療法」という

タイトルでご講演頂きました。本講演は、ヨガマットを用いて、先生とともに実技を取り入れながら和気あいあいと行われました。総会・講演会合わせて36名の方にご参加頂きました。

さて、みなさん腰痛や肩こりがありますか。多くの方がYESとお答えになるのではないのでしょうか。実際、多くの方が腰痛や肩こりといった症状に悩まされているそうです。そこで、意識したいのが姿勢で、姿勢の違いによる腰への負担の大きさは、前傾すると腰への負担が1.5倍になり、立位よりも座位の方が腰にかかる負担は1.4倍大きく、さらに座ったまま前傾すると立位の2倍近い負担がかかるそうです。まさに、

徳島大学睦眉会理事
徳島大学医療技術短期大学部看護学科10期生
徳島大学大学院医歯薬学研究部 子どもの保健・看護学分野

高橋 久美

座って前傾姿勢でスマートフォンを見ることは腰への負担がとて大きいことがわかります。では、どうすれば腰に負担をかけないのか、それは正しい姿勢を心掛けることだそうです。難しいことではなく、ちょっとした日常動作を意識して行うことが大切ということです。実際に隣同士の参加者と姿勢の確認を行い、

今まで意識していなかった姿勢を皆で修正しました。また、今回の運動療法として行ったピラティスのコンセプトは、「Joint by Joint Theory」に基づいています。低可動な胸椎や股関節には可動性（モビリティ）を高め、過可動な頸椎や腰椎には安定性（スタビリティ）を高めることで、脊椎にかかるメカニカルストレスを低減・分散させることが重要です。特に、腰痛予防には、「胸椎」と「股関節」の可動性を高めることが鍵であると学びました。まずは、日々のちょっとした姿勢や動作を意識して腰痛を予防しましょう。



「実技講習の様子」

活躍する卒業生

徳島大学ホームページ、徳島大学びざん会の「ニュースレター」に掲載されています。



徳島大学医療技術短期大学部専攻科助産学特別専攻 平成6年卒業
徳島大学病院 副病院長・看護部長

上田 美香
(うえた みか)

略歴

平成6年3月 徳島大学医療技術短期大学部専攻科助産学特別専攻 卒業
平成6年4月 徳島大学医学部附属病院 就職
平成16年4月 国立大学法人徳島大学病院 副看護部長
平成26年4月 国立大学法人徳島大学病院 看護部長
平成31年4月 国立大学法人徳島大学病院 副看護部長
令和4年4月 国立大学法人徳島大学病院 副病院長・看護部長
現在に至る

平成6年4月に徳島大学医学部附属病院（現徳島大学病院）に助産師として就職され、周産母子センターや内科病棟、集学治療病棟（HCU）等で助産師・看護師のキャリアを積まれました。

平成22年には、全国の国公立大学病院で初の取り組みとなる、院内助産システム（ひなた）の立ち上げに主として関わられました。「自然な出産を支援したい」という助産師としての強い思いから、分娩台は使わず産婦さんが一番楽な姿勢で出産できるよう、また、その動きに対応できるよう1年間の研修を通してフリースタイル分娩のスキルを身につけられました。

平成26年に看護部長、平成31年に副看護部長、そして令和4年からは副病院長・看護部長として看護管理者の役割を担われております。COVID-19感染症のような新興感染症への対応、災害、超高齢化社会においても質の高い看護サービスが提供できるようにと、様々な資源を活用しながら看護部門全体をマネジメントされております。また、看護倫理観に基づいたやさしさや思いやりに富む看護職の育成や、看護職がキャリアを継続できるようワーク・ライフ・バランスを大切にした環境整備にも努め、「患者さんと職員に選ばれる看護部」を目指されております。病院の経営陣の一員として病院の運営に関与するなど、今後ますますのご活躍が期待されております。

研究室紹介

子どもたちの健やかな発育と生涯にわたる健康に寄与する教育と研究

徳島大学大学院医歯薬学研究部 学校保健学分野 教授

奥田 紀久子

学校保健学分野は、徳島大学における養護教諭養成の中核組織として、学内外に対する大きな役割を果たしています。平成20年度の学部入学生から、選択制で養護教諭一種免許状、大学院では専修免許状が取得できるようになり、現在では80名近い卒業生が養護教諭として全国各地で活躍しています。学校保健学分野では、子どもたちの心と体を見守りながら、生涯を健康に生き抜く力を養うための教育活動ができる、高い資質能力を備えた養護教諭の養成教育に取り組んでおり、学校教育現場からは大きな期待が寄せられています。

また、現在、研究活動のひとつとして、「Society5.0時代を生きる子どもたちのための次世代型ヘルスリテラシー教育プログラムの開発」を徳島大学の研究クラスターに登録しています。これは子どもたちへの保健教育全般に関わる試みで、中でも小中学生を対象とした喫煙防止教育は、平成29年度の開始以降、継続して科学研究費助成事業に採択され大きな成果をあげています。養護教諭を志す学生と共に、県内の小中学校に出向いて行うこの活動では、毎年1,000名を超える児童生徒に、喫煙の害と健康の大切さを伝える貴重な機会となっています。本分野が開発した喫煙防止教育プログラムによって、子どもたちは単なる知識だけではなく、自分の健康と周囲の人々の健康のために

どう判断し、どう行動すればよいかをしっかりと考えていることが、アンケート調査の解析から明らかになりました。さらにこの活動は、子どもたちを通して家庭や地域の大人に還元される、まさにリバースエデュケーションの機会となっており、学生への教育と研究と社会貢献が有機的に循環する画期的な取り組みです。

今までもこれからも、子どもたちの健やかな発育と生涯にわたる健康を願いながら、価値ある教育・研究に取り組んでいきます。



「喫煙防止教育の一場面」

保健学科、保健科学研究科における国際交流活動報告

徳島大学医学部保健学科国際交流委員会 委員長
徳島大学大学院医歯薬学研究部 地域看護学分野 教授

岡久 玲子

徳島大学大学院保健科学研究科教育・研究委員会 委員長
徳島大学大学院医歯薬学研究部 看護管理学分野 教授

谷岡 哲也

睦眉会の皆様には、平素より、保健学科および保健科学研究科の国際交流活動に多大なるご協力をいただき、誠にありがとうございます。今年度の国際交流活動について、ご報告させていただきます。

保健学科では、2024年8月から9月、学部間学術協定校であるメトロポリア応用科学大学（フィンランド）に、看護2年生4名と4年生1名、計5名の留学生を派遣いたしました。留学中は、英語による看護専門科目の受講、医療施設の見学、留学先大学の学生および他国からの留学生との文化交流など、充実した留学生活を送りました。英語でのコミュニケーションのためのモチベーションが高まり、帰国後も英語力向上のために努力を続けています。



2024年10月20日からは、約2カ月の予定でメトロポリア応用科学大学からの短期留学生（特別聴講生）1名を受け入れています。保健学科国際交流サークル（IAHSS）のメンバーや、今年度フィンランドに留学した学生が中心となり、留学生生活をサポートしてくれています。留学プログラムは、各学年の授業や演習への参加、スキルス・ラボでの医学科生5名と看護4年生3名との合同体験演習（縫合実習）、日本語教育の受講、多文化交流への参加などを組み込んでおり、多くの学生・教員との国際交流を深めながら、日本の看護教育や文化について楽しく学んでいます。



徳島大学大学院保健科学研究科には、留学生を対象として**博士前期課程英語プログラム**および**博士後期課程統合医療学際教育英語プログラム**があります。入学時期は、4月と10月です。

2024年の10月から新設した**博士前期課程英語プログラム**に、国際交流協定を締結しているセントポール大学フィリピン（SPUP）(<https://spup.edu.ph/>) から、SPUP教員で薬剤師のヴィエリネス氏が生体機能解析学分野（医用検査学系）の遠藤教授の研究室に入学してきました。このプログラムでは、英語で教育研究を進めます。しかし、日常生活ではすぐに日本語が必要な状況となるので、日本語能力を高めるための授業を2科目組み込んでいます。また日本の風土、習慣についても学習することが重要です。そのため活発な日本人学生との交流が求められます。

徳島大学では、大学院の入学者が減少しています。そのため、外国からの留学生は貴重な人材です。留学生が母国に帰国した際には、次の大学院生をリクルートする重要な役割を担ってくれることを期待しています。

一方で、日本人の大学院生の海外留学を進めていくことも重要です。そこで、SPUPにおいて、**大学院生を対象とした留学プログラム「英語論文執筆に向けた研究能力向上研修」**を実施することとなりました。現地研修期間は2025年2月24日（月）～3月8日（土）です（この期間に学部学生のSPUPでの留学プログラムも実施されます）。

大学院生の英語能力向上を目指すために、SPUPの英会話コース、そして大学院の講義、演習、実習に参加します。大学院生は日本で現在行っている研究を論文形式で、英語で執筆したものを持参し、具体的に自分の英文の改善点について個別指導を受け、英文での科学論文の執筆能力を高めることを目指します。

保健学科および保健科学研究科では、**メトロポリア応用科学大学（フィンランド）、プリンス・オブ・ソンクラ大学（タイ）、シリマン大学（フィリピン）、SPUPと国際交流協定をしています**。留学生を相互に送り、教員間の信頼関係を構築するためには、締結した大学との連携が重要です。しかし、連携を維持するための資金が不足しております。引き続き、同窓会からの皆様の応援をお願い申し上げます。

退職された先生方からのメッセージ

地域医療の発展—私の最後の仕事

医療法人松風会 江藤病院 院長
元徳島大学大学院医歯薬学研究部 看護学系 教授
徳島大学名誉教授

近藤 和也



睦眉会会員の皆様におかれましてはお元気で活躍のことと存じます。私は平成19(2007)年4月に森本忠興先生の後任として臨床腫瘍医療学分野の教授となり、令和6(2024)年3月末に定年退職いたしました。17年間大変お世話になりました。現在、医療法人松風会・江藤病院で院長として、地域医療を推進しています。私の後任として、鳥羽博明教授がこの分野を継続されたことが最大の喜びです。

保健学科の教授時代は、学部授業(解剖生理学Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ,Ⅳ、疾病論Ⅱ,Ⅲ,Ⅳ,Ⅴ、がん看護論、画像検査学(呼吸機能検査)、医療安全管理学など)が多く、講義の資料を作成するのが大変でした。実習では、疾患カンファレンスでCTやMRIなどの画像診断を使って疾患の説明をするのも苦労しました。今となっては、楽しい思い出になっています。もっとうまく説明できなかったのか、反省しています。大学院の研究では、看護学領域だけでなく、医用検査学領域にも修士課程と博士課程に講座を開講することができました。医用検査学領域の大学院生(修士課程8名(留学生1名)、博士課程7名(留学生4名))とは、「胸部悪性腫瘍の分子生物学的研究」を、看護学領域の大学院生(修士課程4名(留学生4名)、博士課程2名(留学生1名))とは、「肺癌や乳癌における周術期のQOLの研究」を行いました。多くの

留学生に私たちの研究室に来ていただき、楽しく研究を行うことができました。

定年退職後、小松島の江藤病院に勤務しています。江藤病院は昭和54年6月に和田島町に開院して、平成29年11月に大林町に移転しました。関連施設として、老人保健施設明和苑、訪問看護ステーション岬を併設、南部訪問看護ステーション、院内託児所ひまわりルーム、有料老人ホーム岬ハウス、デイサービスしおかぜ、グループホームはまどを開設し、質の高い医療と福祉を地域に提供しています。急性期病院で治療し、病状は安定している患者を受け入れています(地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟、医療療養病棟)。医師・看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・管理栄養士・薬剤師・医療ソーシャルワーカー・事務員などの多職種が連携し、チームで患者さんを支援しています。病院のモットーは、『優しい病院』で、私は大変気に入っています。

今まで徳島大学で教えていただいたことを地域医療に活用していきたいと思います。

最後になりますが、睦眉会会員の皆様の益々のご発展をお祈り申し上げます。

感謝の気持ちを込めて

東京医療保健大学和歌山看護学部 教授
元徳島大学大学院医歯薬学研究部 看護学系 准教授

田中 祐子



睦眉会会員の皆様におかれましては、お元気で活躍のことと存じます。2016年10月から2024年3月末まで勤務させていただき定年退職いたしました。在職中は、先生方、事務職員の皆様、病院のスタッフの方々に大変お世話になり、感謝申し上げます。

2024年4月から、和歌山市の東京医療保健大学和歌山看護学部で養護教諭(教職課程)領域に教授として勤務させていただいております。こちらに来て、和歌山大学教育学部と本学で学校保健を教えることになりました。和歌山県教育委員会、和歌山市教育委員会は、ともに養護教諭の現任教育や本大学への教育に理解と協力をいただき、大変楽しく研修会や授業の開拓に取り組んでいる次第です。徳島大学で学ばせていただいた看護学で、学校保健の推進のために看護力をい

かした養護教諭の養成に取り組んでいます。

着任当時、こちらの市場には様々な味の美味しい梅干しがたくさんあり、ほぼ毎日梅干しを食べるようになりました。秋になるとみかんはもちろん、柿の生産が日本一と言われるほど、たくさんの柿が出ています。学校の給食にも柿の入ったカレーがでると聞きました。おかげさまで、体調を崩すことなく、教育と研究に携わることができ、感謝しております。

この感謝の気持ちを忘れずに、睦眉会会員の皆様をはじめ、徳島のことを思い出し、一層教育と研究に努力したいと思います。

令和6年度 徳島大学睦眉会総会報告

日 時：令和6年7月14日（日）
場 所：徳島大学病院 外来診療棟5階
日亜ホール ホワイト
日 程：1. 総 会：10：00～10：30
（受付 9：30～）
2. 講演会：10：30～12：00
形 式：対面

【第14回睦眉会主催講演会】
講 師：藤谷 順三 先生
（徳島大学大学院医歯薬学研究部
地域運動器・スポーツ医学分野 特任准教授）
演 題：「ピラティスによる腰痛の運動療法」
形 式：講演の後に実技を実施
参加者：36名

総会次第

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 議案審議
（第1号議案） 令和5年度事業報告・役員会報告
（第2号議案） 令和5年度会計報告・会計監査報告
（第3号議案） 令和6年度事業計画案
（第4号議案） 令和6年度予算案
（第5号議案） 令和6～7年度役員改選案
4. 閉会の辞

（第1号議案） 令和5年度 事業報告

1. 保健学科/大学院保健科学研究科 国際交流基金への寄付金贈呈
2. 災害等学生支援基金として積み立て
3. 医学部創立80周年記念事業基金への寄付金贈呈
4. 入学記念品の贈呈・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 令和5年4月
5. 入学式出席(会長)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 令和5年4月6日
⇒事前申込みの入学生・関係者のみの開催のため、会長参加中止
6. 新入生歓迎昼食会の開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 令和5年4月6日 ⇒中止
7. 徳島大学びざん会（同窓会連合会） ニュースレター（活躍する卒業生）掲載・・・・ 令和5年6月、12月
8. 令和5年度睦眉会総会の開催（ハイブリッド開催）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 令和5年7月6日
9. 医学部80年史への原稿作成協力・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 令和5年7月
10. 徳島大学びざん会（同窓会連合会）交流会「オンラインびざん会」への出席（会長他）
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 令和5年4月22日～令和6年3月23日（計9回）
11. 徳島大学びざん会（同窓会連合会）交流会「徳島びざん会」への出席（会長他）・・・・ 令和5年10月12日
12. 徳島大学びざん会（同窓会連合会）交流会「近畿びざん会」への出席・・・・・・・・ 令和5年11月26日
⇒睦眉会からの参加者なし
13. 医学部創立80周年記念式典・祝賀会への参加（会長他）・・・・・・・・・・・・・・・・ 令和6年2月18日
14. 睦眉会会報(第23号)の発行・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 令和6年2月20日
15. 卒業式・医学部各賞授与式出席（会長）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 令和6年3月22日
16. 卒業・修了記念品の贈呈・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 令和6年3月22日

役員会報告

1. 役員会・総会開催状況（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

年度	回数	開 催 日	場 所	参加人数
R. 5	1回	令和5年4月19日(水)	Web会議	25名
	2回	令和5年6月19日(月)	医学部第二会議室・Zoom ハイブリッド会議	28名
	3回	令和5年7月6日(木) (令和5年度睦眉会総会を兼ねる)	医学部第二会議室・Zoom ハイブリッド会議	27名
	4回	令和6年2月8日(木)	医学部第二会議室・Zoom ハイブリッド会議	26名
	5回	令和6年3月27日(水)	医学部第二会議室・Zoom ハイブリッド会議	24名

2. 各種委員会開催状況

委員会名		開催日	場所	参加人数
会報委員会	1回	令和5年8月31日(木)	医学部第二会議室・Zoom ハイブリッド会議	12名
	2回	令和5年11月16日(木)	Web会議	13名
	3回	令和5年12月18日(月)	Web会議	14名
	4回	令和6年1月15日(月)	Web会議	8名
学術・名簿委員会	1回	令和6年3月11日(月)	医学部第二会議室	10名
ホームページ委員会		随時		3名

3. 役員会・委員会における主な協議事項

- 1) 睦眉会総会について
- 2) 睦眉会役員改選について
- 3) 睦眉会会則の改正について
- 4) 睦眉会会報の発行について
- 5) 睦眉会の役員の委員会活動について
- 6) 徳島大学びざん会(同窓会連合会)への協力について
- 7) 保健学科・保健科学研究科国際交流基金への寄付金贈呈について
- 8) 災害等学生支援基金について
- 9) 入学記念品贈呈について
- 10) 卒業・修了記念品贈呈について
- 11) 医学部創立80周年記念事業への協力について

＊(第1号議案)令和5年度 事業報告・役員会報告は、すべて承認された。

(第2号議案)

令和5年度 睦眉会 会計報告

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

一般会計 【収入の部】

(単位 円)

項 目	予算額	決算額	増減額
前年度繰越金	3,651,265	3,651,265	0
本部会費(137名分)	2,740,000	2,740,000	0
貯金利子	20	25	5
収入合計	6,391,285	6,391,290	5

【支出の部】

(単位 円)

項 目	予算額	決算額	増減額
総会費用	40,000	28,213	△ 11,787
印刷費・送料(会報代を含む)	1,500,000	1,231,192	△ 268,808
会議費	300,000	240,628	△ 59,372
慶弔費(卒業記念品、退職教員記念品代を含む)	800,000	424,150	△ 375,850
保健学科/保健科学研究科の国際交流基金への寄付金	100,000	100,000	0
医学部80周年記念事業への寄付金	500,000	500,000	0
災害等学生支援基金への積立金	100,000	100,000	0
会報委員会活動費用	50,000	63,471	13,471
事務局運営費	200,000	200,000	0
雑費	50,000	40,535	△ 9,465
支出小計	3,640,000	2,928,189	△ 711,811
予備費	2,751,285	0	△ 2,751,285
次年度繰越金	0	3,463,101	3,463,101
支出合計	6,391,285	6,391,290	5

特別会計

【収入の部】

(単位 円)

項 目	予算額	決算額	増減額
前年度繰越金	100,000	100,000	0
災害等学生支援基金積立金	100,000	100,000	0
収入合計	200,000	200,000	0

【支出の部】

(単位 円)

項 目	予算額	決算額	増減額
災害等学生支援事業	0	0	0
予備費	200,000	200,000	0
支出合計	200,000	200,000	0

会計監査報告

令和5年度会計報告書を監査いたしました。
会計処理は適正に、正確に処理されていることを証明いたします。

令和6年5月16日 監事 森 さゆり
監事 高橋 久美

*(第2号議案)令和5年度睦眉会会計報告・会計監査報告は、すべて承認された。

令和6年3月31日 会計 佐々木幹治

(第3号議案)

令和6年度 事業計画

- 保健学科/大学院保健科学研究科 国際交流基金への寄付金贈呈
- 災害等学生支援基金として積み立て
- 入学式出席(会長) 令和6年4月5日
- 睦眉会主催新入生歓迎昼食会の開催 令和6年4月5日
- 徳島大学びざん会(同窓会連合会) ニュースレターへの掲載 令和6年6月、12月
- 令和6年度睦眉会総会の開催(対面) 令和6年7月14日
- 第14回睦眉会主催講演会の開催(対面) 令和6年7月14日
講師：藤谷順三 先生
(徳島大学大学院医歯薬学研究部 地域運動器・スポーツ医学分野 特任准教授)
演題：「ピラティスによる腰痛の運動療法」
- 徳島大学びざん会(同窓会連合会)交流会「徳島びざん会」への出席(会長他) 令和6年10月10日
- 徳島大学びざん会(同窓会連合会)交流会「関東びざん会」への出席(会長他) 令和6年11月10日
- 睦眉会会報(第24号)の発行 令和7年2月頃
- 卒業式・医学部各賞授与式出席(会長他) 令和7年3月25日
- 卒業・修了記念品の贈呈 令和7年3月25日

*(第3号議案)令和6年度 事業計画案は、提案通り可決された。

(第 4 号議案)

令和6年度 睦眉会予算
(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

一般会計【収入の部】

(単位 円)

項 目	前年度予算額	今年度予算額	増減額
前年度繰越金	3,651,265	3,463,101	△ 188,164
本部会費(131名分)	2,740,000	2,620,000	△ 120,000
貯金利子	20	25	5
収入合計	6,391,285	6,083,126	△ 308,159

【支出の部】

(単位 円)

項 目	前年度予算額	今年度予算額	増減額
総会費用	40,000	70,000	30,000
印刷費・送料(会報代を含む)	1,500,000	1,600,000	100,000
会議費	300,000	300,000	0
慶弔費(入学・卒業記念品、退職教員記念品代を含む)	800,000	800,000	0
保健学科/保健科学研究科の国際交流基金への寄付金	100,000	100,000	0
医学部80周年記念事業への寄付金	500,000	0	△ 500,000
災害等学生支援基金への積立金	100,000	100,000	0
会報委員会活動費用	50,000	70,000	20,000
事務局運営費	200,000	200,000	0
雑費	50,000	50,000	0
支出小計	3,640,000	3,290,000	△ 350,000
予備費	2,751,285	2,793,126	41,841
支出合計	6,391,285	6,083,126	△ 308,159

特別会計【収入の部】

(単位 円)

項 目	前年度予算額	今年度予算額	増減額
前年度繰越金	100,000	200,000	100,000
災害等学生支援基金積立金	100,000	100,000	0
収入合計	200,000	300,000	100,000

【支出の部】

(単位 円)

項 目	前年度予算額	今年度予算額	増減額
災害等学生支援事業	0	0	0
予備費	200,000	300,000	100,000
支出合計	200,000	300,000	100,000

*(第4号議案)令和6年度 睦眉会予算案は、提案通り可決された。

(第 5 号議案)

令和6～7年度 睦眉会役員改選
(2024年 7月14日～)

役 職	氏 名	所 属	勤 務 先
名誉会長	森 健 治	学科長	徳島大学医学部保健学科長 (徳島大学大学院医歯薬学研究部)
会 長	久 米 博 子	看	徳島大学病院
副会長	三 木 こずえ	看	徳島大学病院
	天 野 雅 史	放	徳島大学病院
	佐 藤 雅 美	検	徳島大学病院
	坂 本 理美子	助	徳島大学病院
理 事	梅 野 真由美	検	
	佐々木 幹 治	放	徳島大学大学院医歯薬学研究部
	高 橋 久 美	看	徳島大学大学院医歯薬学研究部
	橋 本 浩 子	看	徳島大学大学院医歯薬学研究部
	富 永 正 英	放	徳島大学大学院医歯薬学研究部
	安 藝 健 作	検	徳島大学大学院医歯薬学研究部
理 事	竹 林 桂 子	助	徳島大学大学院医歯薬学研究部
	藤 村 ひとみ	看	徳島大学病院
	戸 崎 美 鈴		徳島大学病院
	米 田 好 美		四国大学看護学部
	明 石 晃 代		徳島大学病院
	栗 本 佐知子		四国大学看護学部
	石 川 貴 之	放	徳島大学病院
	山 田 健 二		徳島大学病院
	板 東 要 太		徳島県立中央病院
	成 澤 裕 子	検	徳島大学大学院医歯薬学研究部
	藤 野 恵		徳島大学病院
	田 中 真 弓		徳島県立中央病院
	江 原 翔		徳島市民病院
	原 田 美佐子	助	みさ子助産院
	大 西 真理子		徳島大学病院
	佐 藤 浩 子		徳島大学大学院医歯薬学研究部
監 事	堤 理 恵	看	徳島大学大学院医歯薬学研究部
	森 さゆり	検	徳島大学病院

*(第5号議案)令和6～7年度 睦眉会役員改選案は、提案通り可決された。

医学部創立80周年記念事業への参加報告

睦眉会理事(事務局)
徳島大学医学部附属臨床検査技師学校4期生

梅野 真由美

徳島大学医学部は、令和5(2023)年に創立80周年を迎えました。保健学科は、平成13(2001)年に、医療技術短期大学部の発展的改組を経て医学部保健学科となり、令和3(2021)年には創設20周年を迎えております。

医学部創立80周年を迎えるにあたり、睦眉会はその歴史を振り返り、徳島大学医学部八十年史編纂事業への寄稿をさせていただきました。平成8年に発足した睦眉会の歩みや活動報告の一端を記録として残すことができ、大変光栄に思っております。

また、創立80周年記念事業基金に対しては、睦眉会から50万円を寄付させていただきました。睦眉会会員の皆様からも、基金へのご寄付を賜りありがとうございました。この基金が医学部のさらなる発展に寄与することを願っております。

さらに、令和6年2月18日(日)、徳島グランヴィリオホテルにおいて、徳島大学医学部創立80周年記念式典・記念講演会・記念祝賀会が開催されました。睦眉会からは、4名(久米会長、橋本前会長、河田元会長、事務局梅野)が招待され、大学の関係者の皆様と共に歴史を祝い、今後の展望を語る貴重な時間を過ごすことができました。祝賀会の最後には、栄養学連の学生さんたちに晴れやかな阿波踊りを披露していただきました。

1943年に設立された徳島医学専門学校が現在の規模にまで成長し、医学科、医科栄養学科、保健学科など多岐にわたる教育・研究を行い、医療人材の育成に尽力していることに敬意を表します。今後も、徳島大学医学部が優れた医療人を輩出し続けることを心から願っております。



「久米会長挨拶」



「元 睦眉会会長や元・現保健学科教員と共に」



「栄養学連による阿波踊り」

編集後記

卒業生の皆様お元気にお過ごしでしょうか。第24号の会報発行にあたり、会報委員会の皆様をはじめ、ご執筆頂いた皆様に深く感謝申し上げます。

令和6年は、夏にパリオリンピック・パラリンピックがあり、ワールドシリーズでは、ドジャース優勝で盛り上がりました。家族全員テレビの前で、選手の活躍や躍動に歓喜しました。今回のオリンピック・パラリンピックは前回と異なり、歓声や拍手が聞こえ、私達の応援も力が入りました。「声援



が力になった」という選手のインタビューから、コロナ前の日常を取り戻したことを実感しました。

新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行したため、私の勤務する病棟は今年度から、医学部保健学科看護学専攻の実習受け入れを開始しました。受け入れ側も学びが多く、実習生への指導が良い刺激となっています。今後も厳しい寒さが続くでしょうが、感染に気を付けながら実習を継続できればと思っています。会員の皆様におかれましては、今後も健康に留意し、お過ごしください。

睦眉会会報委員 三木 こずえ

徳大ニュース

1 総務部未来創造課未来創造係から、経営企画部大学経営課未来創造室になりました

令和6年10月1日の事務組織の再編により、総務部未来創造課未来創造係は、経営企画部大学経営企画課未来創造室未来創造係になりました。業務については変更ございません。

引き続き、同窓生の皆さまと大学の架け橋になるよう、今後とも尽力いたします。よろしくお願いいたします。

2 令和6年度徳島びざん会交流会および関東びざん会交流会を開催しました

びざん会は、各同窓会・支部の皆さまへ本学の活動を報告するとともに相互の意見交換を目的として開催しております。徳島びざん会（開催地：徳島県）は10月頃、近畿地区びざん会（開催地：大阪市）および関東びざん会（開催地：東京都）は毎年近畿と関東で交互に11月頃に開催しています。

本年度は、徳島びざん会交流会を10月10日、関東びざん会交流会を11月10日にそれぞれ開催しました。多数の同窓生の皆さまにお越しいただき、盛んな交流が行われました。

令和7年度は徳島びざん会および近畿地区びざん会を開催する予定です。詳細は夏頃に本学HP「徳島大学びざん会」ページ（下記QRコード参照）にてご案内します。お近くにお住まいの同窓生の皆さまはぜひご覧ください。

3 TOKUSHIMA UNIVERSITY GIVING CAMPAIGN 2024のご報告

GIVING CAMPAIGNとは、国公立大学・大学生の学生団体活動の支援を目的とした、大規模なオンラインチャリティイベントです。本学学生団体の取組を全国に向けて発信することにより、各企業をはじめとした支援者による支援金が参加学生団体へ分配される仕組みです。

本学では今回で3回目の開催で、本年度は35の学生団体が参加しました。10月の10日間のイベント期間において、前年度を大きく上回る9,103人の方々の応援と温かい

メッセージが寄せられました。各企業からの協賛金や個人からのご寄附などもいただき、イベントを通じ学生達に多大なご支援を賜りました。

応援が学生達の日々の励みと活動強化につながっています。ご参加いただいた皆さまにおかれましては、大変ありがとうございました。

4 全国徳島県人会連合会の連携協力に関する協定を締結しました

本学は、全国徳島県人会連合会と連携協定を締結しました。人材交流および育成、産官学連携、地方創生、防災など、さまざまな分野における連携を実施し、それにより双方がそれぞれの強みを活かし、相互協力していくことで、徳島県の更なる発展に貢献することを目的としています。

協定締結式は本学にて挙行し、河村保彦学長と同連合会の本出良一会長が協定書に署名しました。本協定により、活力ある徳島県を創生できるよう努めてまいります。

5 令和6年度大学祭(第72回常三島祭、第40回蔵本祭)を開催しました

令和6年度大学祭を開催しました。常三島祭、蔵本祭ともに多数の来場者が訪れ、キャンパスが賑わいました。

お年寄りから子どもまで、学内外から足を運んだ来場者は、ステージ企画や模擬店といった学生による多彩な催しを楽しんでいました。

本年度は常三島祭実行委員では、大学祭をこれまで以上に盛り上げるため、クラウドファンディングで資金を募りました。25名の方からご支援を賜り、常三島祭の運営に活用させていただくことができました。

また、徳島大学基金では、両大学祭の期間中に特設ブースを設置しました。多くの方がブースに足を止め、本学における寄付の具体的な活用事例や取組に興味を持っていただいた様子でした。これらの活動、取組にご協力いただき誠にありがとうございました。

徳島大学公式SNSと各種サイトのご案内

公式SNSでは、徳島大学の情報や活動情報をいち早く皆さまにお届けしています。学生活動や入試情報、奨学金などの情報をはじめ、日々の何気ないキャンパス風景など、学生広報スタッフも記事を掲載し、活躍しておりますので、ぜひ、応援してください。

徳島大学公式X



徳島大学びざん会 Facebook



徳島大学びざん会



2024徳島大学
プロモーションビデオ

